

化学シラバス

科目名：「化学」	単位数：4単位	担当学年：3学年選択者
----------	---------	-------------

学習の到達目標	<p>1. 物質の状態変化，状態間の平衡，溶解平衡および溶液の性質について理解できるとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。</p> <p>2. 化学変化に伴うエネルギーの出入り，反応速度および化学平衡をもとに化学反応に関する概念や法則を理解できるとともに日常生活や社会と関連づけて考察できる。</p> <p>3. 無機物質の性質や反応を探究し有機化合物の分類と特徴が理解できるとともに日常生活と関連づけて考察できる。</p> <p>4. 有機化合物の性質や反応を探究し，有機化合物の分類と特徴が理解できる。</p> <p>5. 上記の目標を達成するために探究活動を行い，学習内容を深めるとともに，化学的に探究する能力を高める。</p>		
学習内容	<p>①物質の状態では，物質の三態についてや，溶液の性質・固体の構造などを学ぶ。</p> <p>②化学反応とエネルギーでは，化学変化と熱・光・電気などのエネルギーとの関わりを学ぶ。</p> <p>③化学反応の速さと平衡では，化学変化における速さの概念やしくみなど，化学反応について学ぶ。</p> <p>④無機物質では金属元素と非金属元素、典型元素と遷移元素の単体と化合物の性質について学ぶ。</p> <p>⑤有機化合物では有機化合物の基礎、脂肪族化合物と芳香族化合物の一般的な特徴を理解し、分類や性質について学ぶ。</p> <p>上記5つを中心に、身の回りの物質や現象と関連させながら学習を進めます。</p>		
学習のワンポイントアドバイス	<p>(1)授業では学習ノート及びプリントを使用し、まとめ・問題演習等を行う。まずは必ず自分で考え解いてみるという活動を大事にすること。</p> <p>(2)授業では、しっかり説明を聞き、分からない点は、間違いを恐れず質問すること。 何が分からないのかを知ることが最も大切なことです。</p> <p>(3)基礎的なことは授業で十分に理解できるように努力したうえで、学習した内容を自分で関連付けていくと身に付きやすいです。</p> <p>(4)応用的な問題は、自宅学習でじっくり考えて解くこと。</p>		
評価の方法	<p>①定期考査</p> <p>②実験や実習プリント・学習ノートがきちんと整理され、提出されているか。</p> <p>③学習に対する意欲や表現、授業態度</p>		
使用教科書	東京書籍「新編化学」	教材等	東京書籍 ニューサポート新編化学
進路との関わり	<p>センター試験では、受験科目に「化学」が義務付けられる学科もあるため、希望大学の募集要項等で確認すること。</p>		